

羽ばたこう 立志の丘から

平成27年10月9日
No.25

学校祭「立志祭」大盛会！！

10月4日、生徒会執行部を中心に、夏から企画・準備を進めてきた、学校祭「立志祭」を開催しました。本校教育活動への、日頃からの地域のご理解とご協力に対する感謝の気持ちを、おもてなしの行動として表そうと準備し、当日、お客様をお迎えしました。



舞台では、オープニングから、空手演舞、各学年による「NISHISENソーラン」「英語暗唱弁論」、大曲仙北理科研究発表会最優秀賞の「理科研究発表」「刈野大綱太鼓」「生徒会発表」、3年生の「劇」などを午前中に発表し、午後からは「吹奏楽部の演奏」、全校生徒、職員、賛助団体、OGによる「大なる秋田」の合唱奏がありました。

また、校内では、各教科や部活動の成果展示、屋台やチャリティバザーなども行われました。

ご来校いただきました皆様、いかがだったでしょうか。今後とも、地域と共に歩む西仙北中学校でありたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



ご来校、誠にありがとうございました。皆様のおかげで、生徒たちは、活動に対する達成感、充実感を味わうことができました。重ねて御礼申し上げます。

SNS利用ルール 提案！

学校祭予行において、生徒会執行部から提案された「SNS（ソーシャルネットワークサービス）利用ルール」が、学校祭で保護者や地域の方々にも披露・宣言されました。

このルールは、5月の生徒総会時に執行部から提案され、SNSの利用に伴う様々な課題や問題が社会的にもでてきているので、この便利なツ

ルをより有効に利用できるよう自主規制を設けたいとして提案され、これまで、本校生徒の利用実態調査やSNSについて考える集会、また、PTAにも参加を呼びかけた上での講演会などを開催し、決定したルールです。講演会は、現在、秋田魁新聞紙上で毎週水曜日に連載されている「うまホ」のコーナーを担当している、秋田県教育庁生涯学習課森川氏を招いての講演会で、具体的にSNSの世界を話してもらうとともに、望ましい利用について考える機会としました。



その結果、略称：NSR（西仙北中学校SNS利用ルール）は、次のとおりです。

- | | |
|-----|--|
| 第1条 | 保護者と約束を決める
(例)・長時間利用しない
・勉強を終えてから使用する
・アプリを必要以上増やさない など |
| 第2条 | 適切な内容か確認して送る |
| 第3条 | ながらSNSをしない
(例)・勉強しながら
・歩きながら など |
| 第4条 | 自分や他人の個人情報を勝手に流さない |

これを機会に、ご家庭でも、今一度、SNSの利用等について、話し合っていたいただければ幸いです。

平和記念フォーラム

1日、大仙市の非核平和都市宣言事業「平和祈念フォーラム」が、大曲中学校を会場に行われました。この夏に、非核平和レポーターとして研修に参加した、本校2年鈴木さんが他のレポーター5名とともに発表しました。

大仙市では、私たちの平穏で豊かな生活は、先の戦争という多くの犠牲を伴った、悲惨な歴史の上に成り立っていることを忘れてはならない、過ちを二度と繰り返してはならない、また、世界で唯一の被爆国として、私たちはこの歴史を語り継いでいかなければならない、として「非核平和都市宣言」をしております。

その宣言事業として、「非核平和レポーター派遣事業」を行っており、市内中学・高校生をレポーターとして任命し、県内で大規模空襲があった秋田市土崎地区、被爆地である広島市へ派遣する事業を継続しています。



核兵器や戦争の恐ろしさ、平和と命の尊さについて学び、その成果を「平和祈念フォーラム」で発表することにより、広く市民の皆さんに伝えることとしています。

本校の鈴木さんをはじめ、3班に別れて発表した6名のレポーターの皆さんは、その趣旨を十分に踏まえた、また、研修地での体験が生かされ、実感の伴ったすばらしい発表でした。フォーラムでは、栗林市長、会場校の大曲中学校校長の挨拶に続き、「第3回平和標語コンクール」入賞作品の表彰が行われました。



当日の表彰は最優秀賞受賞者のみでしたが、本校2年澤田君の「伝えよう『世界平和』がパスワード」が佳作入選でした。

小・中学生の部で、824点の応募があった中で、9作品が入賞という中の1点です。澤田君、おめでとうございます。本校の文化面での活躍が、また見られました。大変うれしいことです。

フォーラムは、非核平和レポーターの発表の後、土崎の伊藤さんご夫婦による映像「語り継ぐ土崎空襲～終戦前夜の悲劇～」及び講演「日本最後の土崎空襲から学ぶ」があり、大仙市議会企画産業常任委員長の「非核平和都市宣言文の朗読」、そして、最後に吉川教育長の挨拶で締めくくられました。

鳥海山初冠雪

10月1日の新聞報道に、鳥海山の初冠雪の記事がありました。

さわやかな秋晴れの下、本校からもその様子がくっきりと見えました。本校の校歌「鳥海山仰ぎみる 立志の丘に 風清く・・・ 雄物川洋洋と 大地潤し 野を拓く」



まさに原風景、心に残る風景が広がります。きっと何年たっても卒業生のふるさとの風景となることでしょう。

そんな中、朝から自らを鍛える生徒たちがいます。学校祭の準備に朝から東奔西走する生徒会執行部がいます。

朝の光の中、風景とマッチする実質の躍動感！そして、やはり「秀麗無比なる鳥海山」を実感します。

なべっこ・マラソン・駅伝

8日、朝の晴天から強風が変わってきた天候ではありましたが、無事、「にしせん駅伝・マラソン大会」と「なべっこ」を開催できました。

前期の締めくくりの行事として「にしせん駅伝・マラソン大会」は、5分間走の成果の発揮、春の「NISHISEN陸上」からの体力の向上の確認、また、さらなる学級の一体感を醸成するために行いました。駅伝大会は、1.1Kmと800mのコース10区間を各学級男女5名ずつの選手によって襷（たすき）をつなぐ学級対抗で行われました。各学級の応援が盛り上がる中、部活動等を終えているにもにもかかわらず、3年A組、3年B組の圧勝でした。さすが3年生です。

マラソンでは、駅伝の選手に選考されなかった全校生徒が、女子は1000m、男子は1500mに挑戦し、春の自分の記録を上回ることを目標に力走しました。学年も男女も関係なく、全員に声援を送る本校のよき伝統が十分に発揮されたマラソン大会でした。学級対抗の勝利チームや区間賞、また、マラソン大会入賞者にはメダルや賞状が授与されました。



風が強くなってきたため、なべっこの会場は、体育館周辺から自転車置き場周辺に変えて行いました。火気の取り扱いに十分配慮しながら、それぞれの班では協力して、満足のいく鍋ができておりました。予定していた「ひまわり」の撤去は、延期しました。もう少し、我が校のシンボル「世界一のひまわり」をご鑑賞ください。

3年生中心に大きな成果を上げ前期終了

生徒会の最大行事「立志祭」を終え、なべっこ・マラソン・学級対抗駅伝大会も行い、前期が無事終了しました。春の「世界一のひまわり」開花以来、全校一丸となって、本校の特色をさらに発揮していこうと、3年生を中心に様々な活動に取り組んだ生徒・職員です。各部活動や陸上競技、駅伝大会、各種コンクールや発表会等での活躍がありました。職場体験や自然体験、田沢湖徒歩一周ラリー、弁当の日、避難所開設訓練などもありました。3年生を中心とした頑張りに敬意を表します。生徒会活動は、後期には1・2年生に引き継がれます。さらなる向上を期待します。